



ライオングループのCSR管理体制の構築

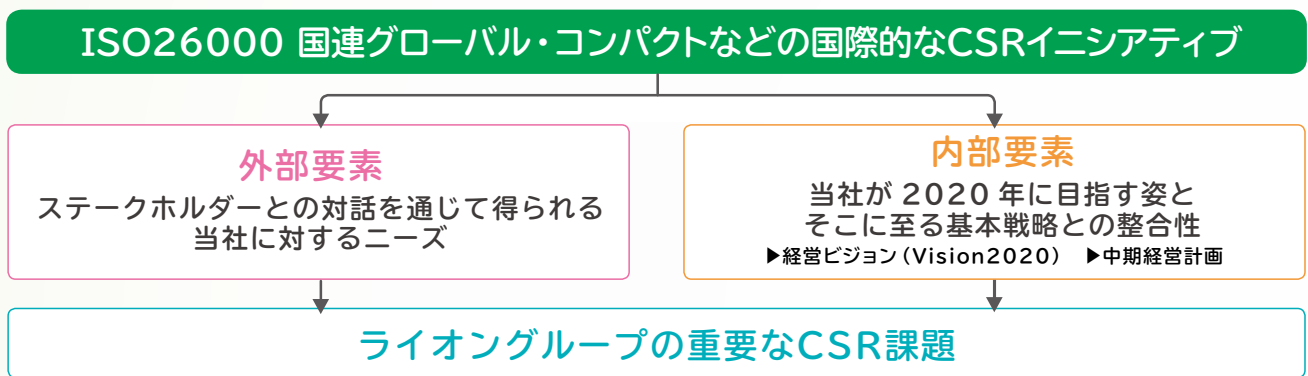
CSR目標の設定と進捗管理

当社は、2011年から国際的な社会的責任の手引きであるISO26000を活用し、第三者機関の意見を参考にしながら、国内グループにおいて対応状況の確認・評価を行ってきました。CSRに関する世界的な動向や当社グループの事業特性、潜在的なリスク・機会と影響度などを検討し、2012年にCSR重要課題を特定しました。

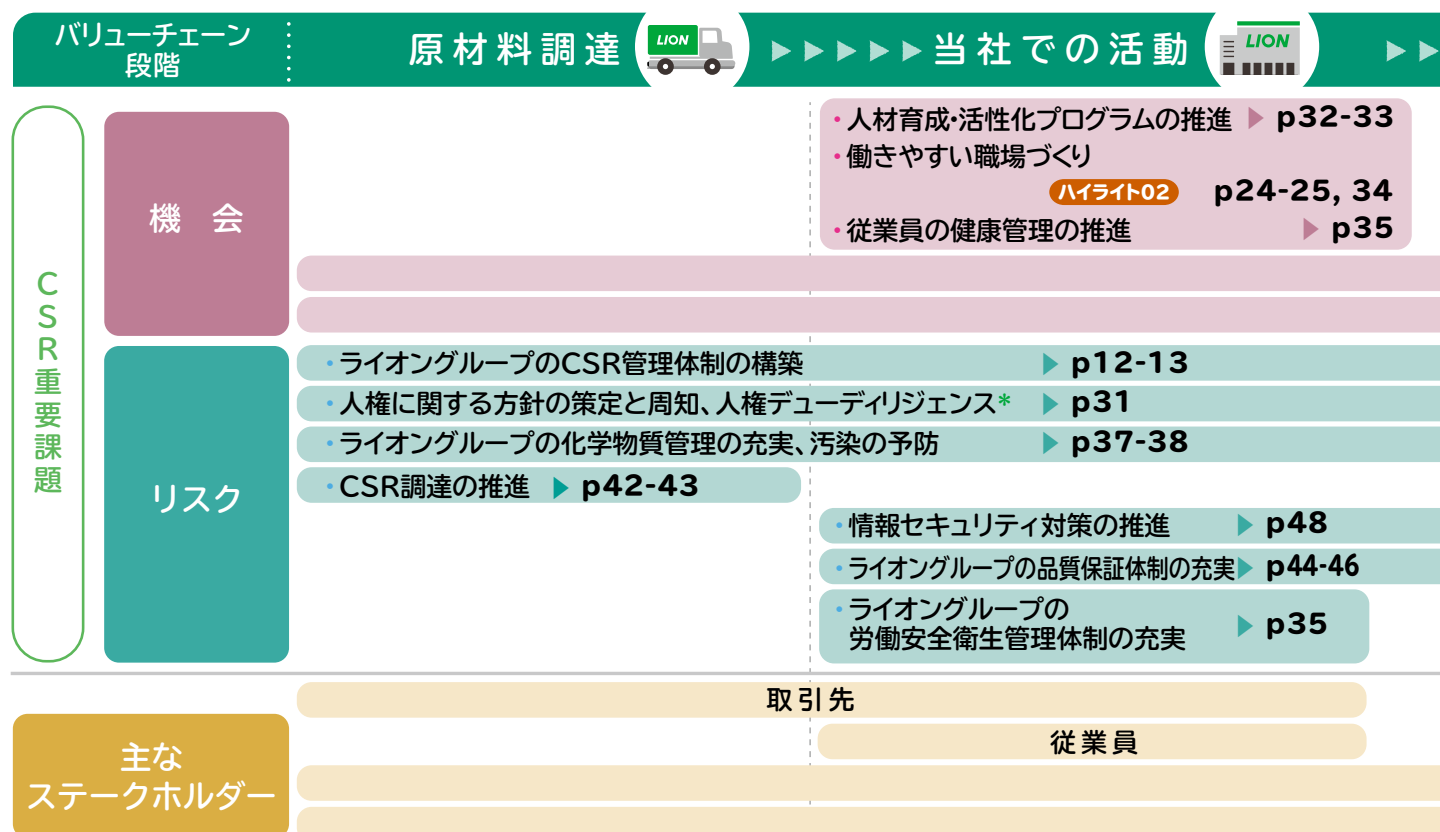
また、重要課題それぞれにおいて、経営計画に合わせた3か年の中期目標を設定しています。

さらに、当社が事業を展開している各国・地域が抱える、持続可能な開発目標(SDGs)に関する課題を整理した上で、当社が事業を通じて達成に貢献すべき目標を特定しています。

重要課題の特定プロセス



バリューチェーンと重要課題 (2016年の活動を関連ページに記載しています。)



*人権に関する悪影響を認識し、防止し、対処するために組織が実施すべきステップ。

2016年ハイライト 01

ライオングループの 国内外での 衛生習慣啓発活動



当社は、創業当初より、社会の清潔衛生文化の発展を目指して、商品の開発とよき習慣づくりの提案をしてきました。現在も、継続的に人々の清潔衛生意識の向上に寄与する商品提供および啓発活動を積極的に行っています。

そのひとつの事例が当社の『キレイキレイ』ハンドソープです。1996年の「O157」食中毒集団感染の多発が契機となり誕生したこの商品は、現在では日本に加えて、韓国、シンガポール、タイ、香港、中国で展開しています。各国において、商品の提供とともに手洗い啓発活動を積極的に行っています。

2016年ハイライト 02

仕事と介護・ 仕事と育児 両立支援への取り組み



当社は、持続可能な経営の実現のために、一人ひとりの従業員が安心して働くことができ、活躍できる会社を目指しています。その中でも特に、従業員の多様性（ダイバーシティ）および仕事と家庭の両立支援（ワーク・ライフ・バランス）を重視して取り組んでおり、積極的に仕事と介護・仕事と育児の両立支援に向けて取り組みを推進しています。

2016年ハイライト 03

千葉工場 排水リサイクル システムの本格稼働



当社は、ハミガキ・ハブラシ・ハンドソープ・衣料用洗剤などの商品を提供しており、創業以来「洗うこと」を通じて、常に水と深く関わってきました。そのため、生産工場における水使用量の削減、節水型商品の開発、雨水活用の啓発を行うなど、水資源保護活動に力を入れて取り組んできました。

2015年に、工場における水使用量の削減施策として、当社の千葉工場にて「排水リサイクルシステム」が完成、2016年より本格稼働しています。

消費者による使用



消費者による廃棄



・くらしに役立つ生活情報の
発信と啓発活動 ▶ p47

・持続可能な社会の発展に
貢献する商品・情報の提供 ▶ p48

・先進的な環境への取り組み **ハイライト03** p26-27, 36-41

・健康で快適な生活習慣づくりにつながる社会貢献プログラムの充実 **ハイライト01** p18-23, 49-51

・リスクマネジメントの推進、コンプライアンスの浸透／内部統制 ▶ p28-30

お客様

株主・投資家

環境・社会